

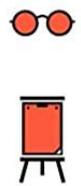


5月新着おすすめ本



大学生のための

リテラシー入門



ビジュ

002.7

HA

1 原木万紀子

現代社会に必須の能力！

大学生のための ビジュアルリテラシー入門

原木 万紀子（著）

情報の伝達のためにはどのような視覚情報を提示すればよいか。また受け取る側はそこから何を読み取るべきか。本書は、米国の大学・研究図書館協会が提唱するビジュアルリテラシーの定義に沿って、なぜそれらの能力が必要とされるか、能力取得のために望まれる訓練について論じる。

(Amazonより抜粋)



大学発の リーダーシップ開発

HIGANO Masahito
日向野幹也 編著

377.15

DA

大学発の リーダーシップ開発

日向野 幹也（編著）

リーダーシップは権限をもたなくても発揮できる。「目標共有」「率先垂範」「相互支援」を実践することが肝要。それをふまえて、「学習する組織」をつくり上げ、アクティブラーニングの先の先をいく、成果を上げた先行先進事例を紹介。

(Amazonより抜粋)



914.6

SA

うまれることば、しぬことば

酒井 順子（著）

陰キャ、根暗、映え、生きづらさ、「気づき」をもらった……あの言葉と言いはなぜ生まれ、なぜ消えていったのか。「ことば」にまつわるモヤモヤの原因に迫る、ポリコレ時代の日本語論。古典や近代の日本女性の歩みなどに精通した著者が、言葉の変遷をたどり、日本人の意識、社会的背景を掘り下げるエッセイ。

(Amazonより抜粋)



タイポグラフィで魅せる

広告デザイン

674.3

TY

タイポグラフィで魅せる 広告デザイン

パイ インターナショナル（編著）

「タイポグラフィ」は、タイトルやコピーに鮮烈な印象を与え、効果的にメッセージを増強させることができる、広告デザインの重要な構成要素です。

本書では見る者に想像力をかきたて、注目を集めるための工夫がなされた文字造形を含む、近年の広告デザイン事例を300点以上紹介。

(Amazonより抜粋)

仁愛大学附属図書館



5月新着おすすめ本



心理老年学と臨床死生学
心理学の視点から考える老いと死
佐藤 眞一（著）

人生の終焉へと向かう中に、人は何を見出せるのか。本書では、老年学と死生学の分野を牽引してきた編者と著者たちが、心理学的視座からの研究成果を提示していく。団塊の世代が70代になり超高齢化社会に突入している日本において、未来に活かせる知見を提供する書といえるだろう。

(Amazonより抜粋)

143.7

SI



よくわかる
観光コミュニケーション論
須藤 廣 他（編著）

ツーリズム・モビリティは、デジタル技術に支えられたコミュニケーションと緊密に結びつきながら、社会や文化を急速に変容させつつあり、「観光コミュニケーション論」は、まさに現在進行形で「何か」を問おうとする挑戦的な試みだといえる。観光学における基本的な概念に加えて、「ぬい撮り」「インスタ映えスポット」など、最新の研究対象をも網羅した入門書。 (Amazonより抜粋)

689

YO



食卓の上の韓国史
おいしいメニューでたどる
20世紀食文化史
周 永河（著）

キムチ、クッパ、ビビンバ、ソロン湯、冷麺、チャプチェ、スンデ、チャチャン麺、マッコリ、キンパ……

どのようにつくりだされて、食べられてきたの？
うまくて、深い、韓国料理の歴史100年!
(Amazonより抜粋)

596.221

JO



異端思想から近代的自由へ
大津 真作（著）

個を離れて普遍はない。教会のカトリシズムという普遍性から個を解放するなかで、近代的な自由が開花する。本書はデカルト、スピノザらいわゆる異端思想家たちが目指したものが、個としての人間の自由の結実し、やがて政治思想、経済思想へと発展する過程を、独自の史観のもとに描く。

(Amazonより抜粋)

081

GA

103